

# こどもの医療費の完全無料化、 30人学級の実現を求める署名(こども署名)

いま親たちは、こどもたちの笑顔に励まされながら、仕事や子育てに懸命に取り組んでいます。しかし、子育ての大きな不安材料に「こどもの病気」と「教育問題」があります。

こどもたちは病気にかかりやすく、重症化することも少なくなく、早期発見・治療が何よりも大切です。少子化対策・子育て支援にとっても医療費(患者負担)の無料化は大きな力となります。全国的には、中学校卒業まで医療費を無料とする自治体も多くなってきています。県内でも就学前まで無料にし、小・中学校にも補助をひろげる自治体も生まれています。

また、教育を充実する要求はますます強まっていますが、2004年から兵庫県で実施された35人学級は、小学校4年生までしか予定されていません。

先進国での40人学級はいまや日本と韓国だけになり、欧米では20人程度が当たり前です。保護者や教育関係者の願いは、義務教育の学年すべてで少人数学級をすすめていくことです。

どちらも国が責任を果たすとともに、県民の願いを実現するための県独自の取り組みが求められるものです。

こうした願いにもとづいて、下記事項の実現を強く求めます。

## 【要求事項】

1. 国に対し、産科・小児科の医師不足の解決、こどもの医療費(患者負担)無料制度の創設、少人数学級の実現を強く求めること。
2. 兵庫県のこどもの医療費(患者負担)を、義務教育終了まで完全に無料とすること。
3. 兵庫県の少人数学級・30人学級を、義務教育の全学年で実施すること。
4. 兵庫県のあたらしい「行革」で、こども医療費助成制度を絶対に削減しないこと。

おなまえ	おところ

取扱団体 [ ]